

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



猛暑の後、季節外れの台風が続  
けて日本列島に上陸し、各地で  
大きな被害が発生しました。  
被災された皆様には、心よりの  
お見舞いを申し上げます。

さて、9月に入り肌を受ける風も爽やかになり、  
秋も間近かに感じられる頃になってきました。



楽しい夏休みが終わり、ホッとした途端、体調を崩される方も  
いらっしゃるかもしれませんが、そんな時は十分な休養と栄養  
をとり、無理せず、よく眠ることを心掛けてください。



秋は、地域のお祭りや、幼稚園・学校の運動会など様々な行事  
があります。体調不良では、どれも楽しむことができません。  
どうぞお元気で過ごしてくださいね！



## 建築のいろはにほへと・・・？

### 【基礎にはどんな種類があるの？】

基礎は、地盤と建物の土台の間で建物の重さを受け止め  
るといふ、極めて重要な役割を担っています。

\* 地盤の性質や建物の構造に適した基礎構造を選択す  
ることが大切ですのでご注意ください。

基礎は鉄筋コンクリートで造られます。

コンクリートは耐圧性が高い一方で引っ張りに比較的  
弱い性質をもっているのに対し、鉄筋は引っ張りに強い  
性質をもっていますので、これら二つを組み合わせることで強  
度を高めているのです。

基礎の形状は、建物の構造や地盤の強度によって「布基  
礎」と「ベタ基礎」の二つが主流になっています。

### 「布基礎」

建物の外壁と間仕切りの壁部分下部に沿って、鉄筋コン  
クリートを断面が逆T字型の帯状になるように打設した  
もの。建物の重量を地盤に伝える底盤部をフーチングと  
呼びます。

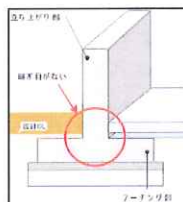
比較的強い地盤の敷地に多く用いられる基礎工法です。

### 「ベタ基礎」

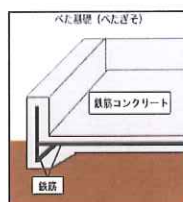
基礎の底盤部であるフーチングを建物1階床下部分の全  
面に広げ、建物を「面」で支える基礎工法。

布基礎に比べ、より強く安定した基礎になります。

地盤（土質）が鉄筋コンクリートで覆われているので、  
地中からの湿気やシロアリ被害を防ぐ効果もあります。



(布基礎)



(ベタ基礎)

### \* 忘れてはいけない湿気対策

基礎は湿気がたまりやすく、劣化やシロアリ発生の  
原因になります。

換気システムや防湿材を使って対策をしておくこと  
が大切です。

### 敬老の日

9月の第3月曜日。多年にわたり社会に尽くしてこられた  
高齢者を敬愛し、長寿を祝う日。

元々は1954年に「おとしよりの日」という名前で制定され  
ました。でも、この名前はちょっとひどいですよね。

やはりそういう声が上がったらしく、1964年に「敬老の日」  
に改められ、2003年からはハッピーマンデーの一環で9月  
の第3月曜日になりました。けれども本当に高齢の方々に  
敬愛する思いがあるのなら、ただ連休にするため、年によ  
って移動するような定め方ではなく、きちんと日にちを定  
めるべきだと思うのは私だけでしょうか？

今は、とても若々しく溘刺としたお元気な高齢者が多く、  
「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼びかけるのをためら  
うことも・・・。



敬老の日をお祝いするタイミングって  
結構難しいですね。

## 野球、ごめんね



9月の声を聞くと、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋、そして食欲の秋・・・等など、何をするにも良い時季になりますね。

「秋」にまつわる思いは、人それぞれにあるかと思いますが、今回は、野球に関する思い出を持つ男性のお話を紹介します。

僕の父は、僕が幼い頃に亡くなり、その後、母は再婚もせずに一人で僕を育ててくれました。

学も無く、何の技術も持たない母は、小さな個人商店の手伝いみたいな仕事で生計を立てていました。

それでも当時住んでいた土地は、まだ人情が残っていたので、何とか母子二人で質素に暮らしていけました。

娯楽なんていう余裕もなく、日曜日になると母手作りのお弁当を持って、近所の公園とか河原に遊びに行っていたのです。

お給料をもらった次の日曜日には、クリームパンとコーラを買ってくれたのがとても嬉しかった。それが唯一幸せな思い出です。

そんなある日、母が勤め先からプロ野球のチケットを2枚もらってきました。

僕は、生まれて初めてのプロ野球観戦に興奮し、その日を首を長〜くして待ちました。

そして当日、母は、いつもより少しだけ豪華なお弁当を作ってくれたのです。



弾むような足取りで野球場に着き、チケットを見せて入場しようとする、係員に止められてしまったのです。

どうして入れないの？

係員の話によると、母がもらってきたそのチケットは、「無料招待券」ではなく、「料金が少し安くなる優待券」だったのです。

入場するには、チケット売り場で一人1000円ずつ払って、チケットを買わなければいけないと言われ、帰りの電車賃ぐらいしか持ち合わせがなかった僕たちは、球場内には入れず、仕方なく外のベンチでお弁当を食べて家に帰ったのです。

帰りの電車の中で、ずっと無言の母に「楽しかったよ」って言ったら、母は、「母ちゃん、バカでごめんね」といって涙を少しこぼした。

僕は、母に辛い思いをさせた貧乏と無学が、とことん嫌になり一生懸命に勉強しました。

新聞奨学生として大学まで進んで、いっばしの社会人になり、その後、結婚もして母に孫を見せてあげることができた。

そんな母が去年の暮に亡くなったのです。

その母が、死ぬ前に一度だけ目を覚まし、思い出したように言った。小さな声で「野球、ごめんね」

僕は「楽しかったよ」と言おうとした。けれど・・・  
最後まで声にならなかったのです。



### 「編集後記」

今夏の暑さは格別で、熱中症などで体調を崩された方も多かったのでは？と気になります。

屋内と違い、炎天下、現場で働く職人さんたちは本当にご苦労様でした。暑いからといって仕事を休むわけにはいかず、完成を楽しみに待って下さるお施主様の笑顔を思いながら頑張ってくれました。9月になると様々な行事でお忙しいことと思いますが、お身体大切にお過ごしください。

8日から始まったパラリンピックも楽しみですね。競技会を通じ、差別や偏見のない、成熟したやさしい社会になることを願います。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。

編集責任者

渡辺 田鶴子

